

コース No.	開講月	地域	訓練実施場所	レベル
3128	10月	尾張（長久手市）	長久手市福祉の家	初級

## マゼンダ介護職員初任者研修・

## 就労支援コース

訓練期間	令和元年 10月1日（火）～ 11月29日（金）
訓練時間	午前9時30分～午後4時30分（うち休憩時間60分）

募集締切日	令和元年9月3日（火）
選考日	令和元年9月18日（水）午前10時～（個別に通知します。）
選考方法	適性検査 [ 面接 ]
募集定員	10名（最少開講人数5名）
受講料	受講料無料（テキスト代5,400円が別途必要です）
目指す資格	介護職員初任者研修
想定される 就職先職種	介護福祉施設等の介護職員

### 選考場所・訓練実施場所



選考場所・訓練実施場所

長久手市福祉の家（マゼンダ初任者研修教室）

長久手市前熊下田171番地

0561-42-8081（担当：牧）

委託訓練機関

株式会社マゼンダ

交通機関

地下鉄東山線 藤が丘駅から名鉄バス5番乗り場  
場で「瀬戸駅前（岩作経由）菱野団地・長久手福祉の家行き」に乗り、「長久手福祉の家」下車

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

<p>●コースの内容 「介護職員初任者研修」資格取得を目指し、介護における基本的な流れを理解し、総合的に生活を支援するための技術を習得する。</p> <p>●コースの目標 介護職員として専門的な流れを理解し、総合的に生活を支援するための技術を習得する。</p> <p>●独自の就職支援活動 資格取得に関する事柄、具体的な進路等について個別面談を実施。近隣地域の福祉サービス事業所の傘下による企業説明会の実施。就職説明会の参加。</p> <p>●訓練に用いる主な設備等 介護用ベッド、車椅子等</p> <p>●使用教材 介護職員初任者研修テキスト（全文ふりがな付き）（中央法規）、職場におけるコミュニケーション講座（自社作成）</p>	<p>◆受講条件等 身体障害・知的障害・精神障害・発達障害の方。文章を読み書きし理解判断できる方。 ※身体介護の実技訓練が48時間あります。</p> <p>◆適性検査の方法 面接</p> <p>◆適性検査の合格基準* 面接官2名に、「A」「B」「C」の三段階のうち「C」を採点されなかった者のうち「A」の個数が多い者から順に定員に達するまでを合格とする。※詳細は表外下部に記載</p> <p>◆教科書代等自己負担額 5,400円</p>
--	--

	科目名	科目の内容	時間数
学 科	就職支援	ビジネスマナー・コミュニケーションスキル・仕事の理解・自己覚知 福祉サービスを知ろう！（企業説明会）	37
	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	8
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	13
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	8
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション 障害者総合支援法と障害者自立支援制度	12
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション	8
	老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康	8
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活家族への支援	8
	障害の理解	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識、 家族の心理、かかわり支援の理解	4
	振り返り	学習してきたことを科目ごとに振り返り、総復習を行う。講師との質疑応答を行って、理解不十分な点の見直しと学習を行い、さらに習得得男深める。	6
	修了試験	学科試験	2
		小計	114
実 技	こころとからだのしくみと生活支援技術	快適な住環境整備と介護、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護、介護過程の基礎的理解等	92
			小計
合 計			206
行事	訓練開始日に入校式、訓練最終日に修了式を実施します。		

## ◆適性検査を実施する場合の「A」「B」「C」の三段階評価

[評価方法]面接官が面接評価表に従い、①訓練の目的意識、②就職意識、③健康及び障害の状況、④社会性・協調性、⑤態度と印象の5項目について、それぞれ「A」「B」「C」の三段階で評価を行う。 【3128】